

1. 設備紹介

名古屋大学宇宙地球環境研究所飛翔体観測推進センター宇宙開発利用推進室では、キューブサットや小型観測装置などのコンポーネントに対応可能な熱真空試験装置や振動試験装置を有しており、学外ユーザーにも開放しています。また、工学部にはコバルト60ガンマ線照射室もあり、これらを合わせて一通りの宇宙環境試験を行うことができます。これまでに大学・研究機関・宇宙ベンチャーを含む企業の方にも利用していただいています。

2. 熱真空試験装置

宇宙の真空・温度環境を同時に模擬できる装置です。液体窒素ではなく冷凍機で冷却します。半自動で制御できるため操作が容易です。



型式	特注
メーカー	アールバキュームラボ
到達真空度	5×10^{-5} Pa
温度範囲	-80 ~ +80℃
設置場所	理学部B館B112号室
真空槽とのIF	Dサブ、SMA、SHVなど
使用料金	38800円 / 日

3. 振動試験装置

ロケット打ち上げ時の振動を模擬できる装置です。正弦波・ランダム・サインバースト試験を行うことができます。



型式	F-06000BM/A
メーカー	エミック株式会社
加振方向	鉛直方向の単軸加振
周波数	5-2300 Hz
最大加速度	706 m/s ² ※正弦波、無負荷時
設置場所	理学部B館B110号室
使用料金	21800円 / 日

4. その他

- ・オペレータはおりませんので、使用方法を最初に説明した上でユーザーの方に利用いただきます。
- ・工学部にはコバルト60ガンマ線照射設備があり、トータルドーズ試験が行えます。詳細は→
- ・装置の空き状況や予約方法、装置の詳細につきましては宇宙開発利用推進室までメールでお気軽に問い合わせください。

[sero-contact](mailto:sero-contact@isee.nagoya-u.ac.jp)

[@isee.nagoya-u.ac.jp](mailto:isee.nagoya-u.ac.jp)

ホームページは→

